

平成24年度 宮古島市学力向上推進要項

1 目標

幼児児童生徒一人一人の「確かな学力」を向上させ、「生きる力」を育む

2 基本方針

県の学力向上推進主要施策「夢・にぬふぁ星プランⅢ」を踏まえ、幼児児童生徒の実態を明確にし、課題解決に向けた具体的方策を立て、市教育委員会、学校、家庭、地域社会が連携して日常的な取り組みを推進する。

- (1) 幼・小・中の各学年で身に付けるべき内容を確実に定着させる取組の充実を図る。
- (2) 各園・学校が実態に沿った特色ある取組を推進する。
- (3) 計画・実施・評価・改善（PDCA）のマネジメントサイクルを確立し、実効性のある取組を推進する。
- (4) 学校間、学校と教育委員会、学校と家庭・地域社会の連携のもとに事業を推進する。

3 取組の重点

- (1) 授業改善
 - 全学校が、主体的な研修会への参加や各種調査を活用した授業づくりを推進する。
- (2) 学習規律の徹底
 - 全学校で発達段階に応じた意図的・計画的な指導を工夫し、児童生徒の自己指導力を高め、学習規律の徹底を図る。
- (3) 家庭学習の充実
 - 全学校が家庭学習の充実を図るための取り組みを行う。
- (4) 基本的な生活習慣の形成
 - 全学校が家庭及び地域社会と連携し、「基本的な生活習慣の形成」を意識した取り組みの充実を図る。
- (5) 地域教育資源の活用
 - 全学級において「学ぶ意義」や「働く意義」を実感させる授業を行う。

4 具体的な主な取組事項

	市教育委員会	幼稚園、小・中学校	家庭・地域
授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文部科学省教科調査官 招聘事業に係る公開授業及び講演会の開催 ○ 標準学力調査の実施 ○ 各種学力調査の分析提供 ○ 「学びのみやこ」に基づく授業づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業改善に係る授業を複数名へ公開 ○ 授業改善に係る研修会への参加 ○ 「学びのみやこ」に基づく授業づくりの充実 ○ 当該学年で身に付ける学習内容の指導の徹底 ○ 補習・ドリル学習の工夫 ○ 県形成確認問題の活用 ○ 各種学力調査の分析・活用 ○ ICT 機器を活用した授業実践 ○ 幼・小連携、小・中連携 中・高連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業（保育）参観、学級懇談会等への参加
学習規律の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活実態調査（i-check）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習を支える力（学習規律）のポイント」を作成 ○ 学習規律の徹底指導 ○ 生活実態調査の分析・活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身の回りの整理整頓の徹底 ○ 学習準備の習慣化
家庭学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活実態調査（i-check）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の充実を図るため、家庭と連携した取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習時間の設定 ○ 家庭学習の習慣化

	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習の手引き活用推進 ○ファミリー読書の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習の習慣化 ○授業と連動した宿題の与え方の工夫 ○家庭学習の手引き活用推進 ○ファミリー読書の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校との連絡等の確認 ○家庭学習の手引き活用 ○ファミリー読書の実施
基本的な生活習慣の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○生活実態調査 (i-check) の実施 ○早寝・早起き・朝ごはん運動の推進 ○「心のみやこ～7つの習慣～」の推進 ○スポーツ少年団・部活動の終了時刻の厳守、定期テスト前1週間程度の部活動停止による学習時間の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭・地域と連携した「基本的な生活習慣」の取組 ○「心のみやこ～7つの習慣～」の推進 ○諸調査の分析・活用 ○時間にけじめのあるスポーツ少年団の活動や中学校の定期テスト前1週間程度の部活動停止による学習時間の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○早寝・早起き・朝ごはん運動の実践 ○「心のみやこ～7つの習慣～」の定着 ○生活リズムの確立 ○帰宅時刻の設定・厳守
地域教育資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○学校人材バンク設置の推進 ○学校支援地域本部の設置 ○放課後子ども教室の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育の視点を踏まえた学力向上の取組 ○「学ぶ意義」や「働く意義」を実感させる授業実践 ○「地域教育資源」を活用した授業の年間指導計画への位置づけ ○学校人材バンクの作成・活用 ○読み聞かせボランティアの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校支援ボランティアへの協力 ○放課後子ども教室への参加・協力 ○積極的な奉仕活動・体験活動等への参加
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上推進委員会の開催 ○学力向上推進担当者研修会の開催 ○学力向上推進ヒアリングの開催 ○検定料補助金事業（漢検・数検・英検） ○学校図書館蔵書の充実 ○移動図書館の活用促進 ○コンピュータの計画的設置 ○学校計画訪問の実施 ○学力向上推進に係る広報（HPの開設） ○学推だよりの発行 ○学力向推進実践報告会の開催 ○教育の日関連行事の開催（市民大会） ○特別支援教育支援員の配置 ○問題行動等学習支援員の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上推進のための取組構想の推進と実践 ○保育改善プランの推進と実践 ○学校図書館運営・蔵書の充実 ○移動図書館の活用 ○朝の読書活動の充実 ○学校だより等の発行 ○教育の日関連行事の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭の日の推進 ○教育の日関連行事への参加

5 達成目標値（指標）

(1) 取組の重点における達成目標値（平成24年度 学力向上推進「取組目標」の評価指標）

--	--

内 容		達成目標値
①	授業改善	○ 100 %の教諭（臨任含）が複数名に授業改善に係る授業を公開する。 ○ 100 %の教諭（臨任含）が授業改善に係る研修会に参加する。
②	学習規律の徹底	○全学校が「学習を支える力（学習規律）のポイント」を作成する。
③	家庭学習の充実	○全学校が家庭学習の充実を図るため、家庭と連携した取組を行う。
④	基本的な生活習慣の形成	○全学校が家庭・地域と連携した「基本的な生活習慣」の形成を図る取組を行う。
⑤	地域教育資源の活用	○全学年が、「地域教育資源」を活用した授業を年間指導計画に位置づける。

(2) 各種調査における達成目標値

内 容		達成目標値	
①	県学力到達度調査	全体平均正答率が、 ○小学校3年・5年(国語A B・算数A B) ：県平均正答率以上 ○中学校1年(国語A B・数学A B・英語・社会・理科) ：県平均正答率以上	県学力到達度調査結果
②	全国学力・学習状況調査	全体平均正答率が ○小学校(国語A B・算数A B・理科)：県平均正答率以上 ○中学校(国語A B・数学A B・理科)：県平均正答率以上	全国学力・学習状況調査結果
③	標準学力調査	全体平均正答率が ○小学校2年・4年(国語・算数)： 全国標準化得点100点としたうちの96点以上 ○中学校1年(国語・数学・理科・社会) 全国標準化得点の100点としたうちの96点以上	標準学力調査結果
④	読書冊数	学校図書館貸出冊数において ○小学校：年間110冊以上 ○中学校：年間40冊以上	学校図書館貸出冊数結果
⑤	家庭学習	1週間に何日勉強するか ○小学校：ほぼ毎日家庭学習する：全体の70%以上 ○中学校：ほぼ毎日家庭学習する：全体の70%以上	生活実態調査結果 i-check
⑥	朝ごはん	朝食は毎日食っているか ○幼稚園：全体100% ○小学校：全体100% ○中学校：全体100%	生活実態調査結果 i-check等
⑦	起床	朝はいつも（だいたい）自分で起きているか ○幼稚園：全体60%以上 ○小学校：全体70%以上 ○中学校：全体80%以上	生活実態調査結果 i-check等
⑧	就寝時刻	就寝時間が ○幼稚園：9時ごろ：全体の80%以上 ○小学校：10時ごろ：全体の80%以上 ○中学校：11時ごろ：全体の80%以上	生活実態調査結果 i-check等